



平成26年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【清新地区】

平成27年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 清新地区シンボルマーク活用実行委員会	清新地区シンボルマーク活用による一体感作り	清新地区では、自治会対抗の事業等が多く行われているが、年々参加者も減少し、活性化が必要である。	清新地区としての一体感を醸成し、愛着、誇りを育み、コミュニティの力を再生することにつなげる。	清新地区のシンボルマークが地区内に広く認識されるよう活用し、地区の更なる一体感作りを図る。	7月10日	596,000	596,000	596,000
2 相模線桜並木保存実行委員会	相模線沿い桜並木の美化事業	桜並木は多くの周辺住民の憩いの場・コミュニティの場・ウォーキング・散歩道に利用されているほか、小山小学校・小山中学校の通学路になっているため環境美化が必要である。桜は樹齢60年を越えているが、根の周辺に人が入り土を固め、桜の木の寿命を縮めているため、根の保護が必要である。	桜並木道路全体の美化を図る 桜の木の延命 通学路として利用する児童・生徒の情操教育に寄与する 地域コミュニティの場として活用	環境美化および桜の根を守るため、柵を設置し、芝桜、玉竜及びスイセン球根を植え、道路の反対側に休憩用丸太椅子の設置を行う。	7月10日	904,000	904,000	904,000
3 清新ご近所みまもり活動推進委員会	清新ご近所みまもり活動推進事業	困りごとを自ら民生委員や行政に相談する人もいるが、ほとんどの場合、他者に相談する方法があることを知らなかったり、相談すること自体を敬遠したりしている。結果として、深刻で重大な事態を招くことがある。 困りごとを抱えている当事者からのSOSは発信されにくい。当事者周辺の住民からの連絡・問い合わせがあつてから、公的なサポートが開始される傾向がある。 一方で、ご近所住民には、当事者ではない自分を買ってに外部に連絡・相談することに相当のためらいがあり、結果、連絡・相談せずに終わることが多い。 地域住民と定期的または頻りに接触する機会がある地域の事業所・営業所・販売店などから、情報が寄せられる事はあるが、その情報収集と活用は低調である。	住民が抱えている困りごとが重大深刻な事態になる前に、いち早く支援組織に繋いで支援が開始されるよう、それを可能にする第一報を発信しやすくすること、その手立てを講じることを目的とする。	1 相談窓口の公的機関、民生委員等の連絡先を明示した「掲示用シートマグネット」の作成 2 連絡先の詳細や連絡するかしないかの判断の助けとなる事例を解り易く記述した「みまもりシート」の作成 3 上記マグネット及び見守りシートを清新地区全戸に配布、ご近所みまもり活動の意識付けを推進 4 地域の事業所・営業所・販売店へのみまもり支援依頼	7月10日	900,000	900,000	900,000

	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
4	清新地区自治会連 合会	清新地区防災マップ整 備事業	<p>東日本大震災以後、地域住民の防災に関する関心は年々高まってきている。しかし、一時避難所、広域避難所等の災害時に最低限必要な情報を十分に把握しておらず、そのような情報の周知や共有化を図る必要がある。</p> <p>また清新地区における自治会の加入率も45%を割り年々減少していることから、自治会の加入促進を図る必要がある。</p>	<p>災害時の備えとして防災意識の啓発と正しい防災知識の共有化を図ることを目的に、清新地区における避難所等の防災関連施設が確認できるよう、防災マップを作成し、全戸配布することで、地域防災力の向上を図り、あわせて自治会活動の目的や紹介を行うことで、自治会への加入促進を図る。</p>	<p>清新地区防災マップを作成し、地区内の全世帯に配布する。(15,000部)</p>	1月22日	600,000	600,000	600,000
							3,000,000	3,000,000	3,000,000